

国際理事会報告

2014年度ICD国際理事会報告

国際理事 橋本光二

2014年度の国際理事会は、10月24日から25日までSection VIIIオーストラリア部会の主催でシドニー市のShangri-La Hotelで開催された。国際理事会は原則的には米国で2年に1回ADA（アメリカ歯科医師会総会）開催地で、それ以外の年は米国以外のSectionが主催して開催されるのが通例であるが2014年度はオーストラリア部会の創立50周年ということで米国以外での開催となった。

2013年度は中国部会主催で開催されたが例年10月開催であったものが9月末開催となった為、国際理事の千田、橋本両名共に、日程的に無理であり欠席したので2年ぶりの参加となった。なお本文中の役職は全て当時のものである。

10月23日夜は恒例の国際理事懇親会が行われた。10月24日は早朝から会議が行われ、本年度はSpeaker（議長）をオーストラリア部会のDr. David Thomsonが務められ彼の開会宣言で国際理事会がスタートした。今回の参加者は5月の日本部会認証式には来日されたWoong Yang会長が体調不良で欠席され、Joseph Kenneally次期会長、Phillip Dowell副会長ほか国際本部役員5名、国際理事21名、国際理事以外にSectionやRegionからのGuestが5名であった。最初にKenneally次期会長から4名の新国際理事の紹介

があり、このうちDr. Tom Tseng (Australia) は会員数が500名を越えた場合は理事を1名増員出来るという新しく出来た規則により増員されたもので、Australia部会 (Section VIII) も国際理事2名となった。

多数の項目について報告があり、EditorのDr. Dov SydneyからGlobe2014についての報告、2014年に更新したHomepageが好評である、多くのsectionがLOGOを効果的に使用している等の報告があった。Hinterman事務局長からは経費削減の為、2015年のダブリン国際理事会からは会議資料はdigital化したものとするとの報告があった。次にPhillip Dowell副会長からGloval Visionary Fundの状況報告があった。国際本部からの情報発信の為に各sectionから蒐集した会員管理データベースの作成を進めている、Facebookを使って国際本部からの情報発信が活発に行われている事なども報告された。また各種委員会からの報告も行われた。

午後は各委員会に分かれて討議が行われた。

翌25日は朝からStrategic Planning Sessionが専門家をFacilitatorとして行われ、国際理事が数名のグループに分かれていろいろな課題について熱心に話し合い報告した。



図1 国際理事会会場



図2 Strategic Planning Session
国際理事がグループに分かれて討議



図3 2015年度国際本部役員

終了後は会議に入り、様々な報告、また執行部から動議が提出され審議された。今回で任期終了となる財務担当のDr. Clive B Rossから2015年度予算が説明され承認された。

2015年度国際理事会は本来米国で開催される筈であ

るが、ヨーロッパ部会が創立60周年を迎える事から10月にアイルランドのダブリン市で行われ、日程等が報告された。

最後に2015年度の新役員が以下の様に決定された。

会 長 Dr. Joseph Kenneally (USA)

次期会長 Dr. Phillip Dowell (UK)

財 務 Dr. Richard Smith (USA)

編集担当 Dr. Dov Sydney (Israel)

また新しく副会長にDr.Rajesh Chandna (India) が推薦され承認された。

以上、予定の報告および審議事項は順調に進められ、最後にHinterman事務局長から2015年度 Joseph Kenneally会長に対し恒例のGavelの引き継ぎが行われ終了した。